

「低賃金、使い捨て労働」非正規雇用に対抗しよう！

11・4 全国労働者集会に結集を！

合同・一般労働組合全国協議会

郵政非正規ユニオン 齋藤裕介執行委員長

東京都葛飾区新小岩2-8-8 クリスタルハイム203

合同・一般労働組合全国協議会

連絡先 電話 03-6231-5031

または労組交流センター

03-3845-7461

メール centergo@rtty.com

労働者のみなさんご苦勞様です。

現在国際的にも非正規労働が大きな社会問題になっています。日本国内でも2500万人の非正規労働者が存在します。日本郵便などは24万人の社員の内16万人が非正規労働者です。

日本を代表する郵政やJRなどの大企業が、低賃金で使い勝手の良い非正規労働者を大量に雇用し、残業タダ働きや雇い止め・解雇などを繰り返して行っています。

JRでは、10月1日検査・修繕業務等を中心に大規模な業務の外注化が強行されました。これは、鉄道の安全性や技術の継承といった企業にとっては最も大切な使命を投げ捨て、正社員を非正規の低賃金、使い捨て労働に切り替え利益を上げようというものです。

郵政でもゆうパックや集配業務の外部委託などが検討され、全社員の非正規化が狙われています。

8月10日労働契約法の改正が国会で成立しました。5年間の有期雇用契約で働けば正規職と同じ「無期契約」に転換をさせる等です。この「無期契約」に転換されるといっても正規社員に転換されるということではなく、労働条件などは非正規雇用のままです。非正規雇用を永久に固定化するものです。そして5年間の有期契約が近づけば企業は一斉に雇い止め・解雇を行うことは明らかです。改正法は認めることは出来ません。

韓国を始め世界では非正規職撤廃の闘いが大きく始まっています。インドネシアでは270万人参加のゼネストが闘われています。

11月4日にはJR外注化に反対しストライキで闘った動労千葉等3労組呼びかけの、外注化阻止！非正規職撤廃！反原発・オスプレイ配備反対！の全国集会在呼びかけられています。

郵政労働者も非正規職撤廃の怒りの声を上げよう！

外注化阻止・非正規職撤廃！
反原発・沖縄普天間基地へのオス
プレイ配備反対！

11・4 全国労働者集会

11月4日（日）正午

東京・日比谷野外音楽堂にて

郵政非正規ユニオンNEWS13号 発行 2012年10月15日



携帯でも簡単に見られます
HPで最新情報発信中！

日本郵便の悪行を暴く東京都労働委員会闘争

1年間の東京都労働委員会でのユニオンと会社側の調査が終わり、12月6日から4回にわたって証人尋問が行われます。齋藤委員長に「アルバイトのクズども」と暴言をはいた元東京多摩支店大工原ゆうパック課長も証人に出ます。

昨年9月以降の非正規労働者4万6千人の雇い止めと、それに先駆けた6月東京多摩支店における12名の雇い止め・解雇が不当労働行為であることを立証する闘いになります。

- 第1回 12月6日(木) 13時
主尋問・組合(齋藤委員長、渡貫書記長)
- 第2回 1月24日(木) 13時30分
主尋問・組合(早川、大畠)
- 第3回 2月14日(木) 13時30分
主尋問・会社(中川、大工原)
- 第4回 3月14日(木) 13時30分
主尋問・会社(井上)

非正規職撤廃！非正規労働者の組合を作ろう 郵政非正規ユニオン

郵政非正規ユニオンは、郵政職場の非正規労働者の不当な低賃金やタダ働き残業、雇い止めと闘う組合です。この間も会社と団体交渉を行い雇い止めを撤回させるなどの闘いを行っています。

何でも気軽にご相談下さい。秘密は厳守します

全国労組交流センター 03-3845-7461

メール centergo@nifty.com

齋藤 鍋倉社長は恥を知れ！今や郵政はブラック企業！

8月3日付けの「社員の皆さまへ」という鍋倉社長の言辭は、とうてい許されるものではありません。かもめーるの販売やお中元の配送などによって第1四半期(4月～6月期)の営業収入が黒字になったと満面の笑みで主張しています。しかし、4月以降職場はどんな状況になってるのか齋藤 鍋倉社長は知っているのか？知っていてやらせているのか！

かもめーるの自爆営業、社員はノルマのかもめーるを背負って新宿の金券ショップに駆け込んでいる姿を！

出勤前タダ働きはあたりまえ、昼食を取る時間もない、バイク・自転車の修理代は自己負担、年休は会社の都合によって当日の出勤後にいきなり言われるなど、職場は黒字化のために無茶苦茶なことが日常的に行われています。

最悪なのは最近、社員が痛ましい交通事故で死亡したり、市民が事故に巻き込まれるなどの事態が頻発していることです。

残業タダ働きは労働基準法違反、会社あげて違法行為を行い営業利益を稼ぎ出すことを「ブラック企業」と呼ぶ！まさに今の郵政事業はブラックそのものです。

その上で、サークルKサンクスが6月ゆうパックから撤退し、最大手ローソンもゆうパックからの撤退がささやかれる中で、鍋倉社長は「継続は力なり」と言いながら、本年度のゆうパックの見込み3億9千万個に対し1千万個の不足が見込まれるとして、本年度においては3億9千万個を必ず達成しなければならぬと言い放ち「ゆうパック 39 チャレンジ」等と銘打って、全社員へのゆうパック拡大の営業を強制することを絶叫しています。

齋藤 鍋倉社長らは、いまだペリカン便とゆうパックの統合失敗の責任を取らずに全責任を社員に押し付け、昨年来、非正規4万6千人もの首切りを強行し、正規社員の一時金を2年間に渡って年平均50万円も減額しました。こうした会社の失態は一切口をつぐみ、いやならヤメ口等と社員への不当な言いがかりや脅迫を行っているのです。もう我慢も限界です。郵政非正規ユニオンに加盟し共に闘いましょう。